



玄関ドア

e・エントリー2 ACタイプ (電気式) **要保存** 施工要領書

このたびは、エクセルシャノン商品をご採用いただきましてありがとうございます。

商品の施工には、この施工要領書をよくお読みになり、正しく美しく仕上げてください。

注 ロックに同梱されている取り扱い説明書は、必ずお客様へお渡しください。

お渡しの際は、操作方法などを取り扱い説明書に従い、必ずお客様へ説明してください。

- この施工要領書には電気錠仕様になる場合の固有な事項（AC電源部の設置、インターフェイスユニットの設置、コード配線、通電金具の取り付け）のみを掲載しています。必要により各機器に同梱されている取り扱い説明書も合わせてお読みください。
- 手動錠用の施工要領書が枠梱包に同梱されております。必ずお読みください。
- 電気錠システム機器には工事店様用取り付け説明書が同梱されております。必ず電気工事店様へお渡しください。

設置上の注意事項

注意事項は、商品の性能・機能、強度および安全性を確保する上での重要な内容です。施工の際は必ずお守りください。

☐ 次の場所での設置はしないでください。

- 湿気の多いところ。
- 粉じんや腐食性ガス、可燃性ガスなどのかかるおそれのあるところ。
- 暖房器具のそばなど、熱源の近いところ。
- ドアに直接雨水がかかる場所。
- 商品仕様より温度が低くなるおそれのあるところ。寒冷地では作動しなくなるおそれがありますので、風除室などを設置してご使用ください。
- 玄関ドアの2m以内に電子レンジやテレビ、パソコンなどの家電製品やOA機器、LED照明、パワーコンディショナーがあるところ。上記使用環境では電磁波を受けて通信電波の到達距離が短くなったり、正しく動作しないことがあります。
- 玄関ドアが電波を通しにくい壁や金属物で囲まれている場所。

☐ 次の範囲でご使用ください。

- 使用可能温度範囲（屋内）：0℃～+50℃（結露・凍結がないこと）
- 使用可能温度範囲（屋外）：-20℃～+70℃（結露・凍結がないこと）
- 使用可能湿度範囲：90%以下

☐ お客様・建築設計者様と十分に打ち合わせしてください。

- 躯体内配線のため、内装工事終了後の変更はできません。システム系統図、配線図を作成し、ACアダプター・操作盤・電気錠コントローラー、モニター付親機などの位置を決めてください。
- 枠からACアダプターおよびインターフェイスユニットまでの配線距離はP.6～9をご参照の上、ACアダプターおよびインターフェイスユニットの取り付け位置を決めてください。
- インターフェイスユニットや組み合わせるシステム機器の取り付けに必要な埋め込みボックスなどの電設資材は、別途市販品をご用意ください。
- 二世帯住宅などで、電気錠を2台設置する場合は、2台の電気錠に同一のエントリーキー・リモコンキーの登録はしないでください。
- e・エントリー2は、他商品との接続が可能です。その場合は必ずインターフェイスユニットを合わせて手配してください。

☐ 心臓ペースメーカーなど植込み型医療機器を装着されている方は、ドアのリーダーからの電波が植込み型医療機器の作動に影響を与えるおそれがありますので、上部シリンダー、上部サムターンから22cm以内に植込み型医療機器が近づかないようにしてください。詳しくは、医療機器メーカー様にご相談ください。

☐ 集合住宅の共同玄関には使用しないでください。

組み立て・取り付け上の注意事項

☐ 機器の分解・改造や転用は行わないでください。

☐ 指定の部品やオプション品以外は使用しないでください。

- ゴムパッキンなど、水密・防水部品は、施工要領書・取り付け説明書（ロック同梱）に従って取り付けてください。正しく取り付けを行わないと、電装部品の故障の原因となります。
- ねじ止め箇所は、指定してあるねじをすべて確実に締めてください。電動ドライバー、インパクトドライバー、エアドライバーなどは使用しないでください。ねじの締めすぎによる破損や動作不良につながるおそれがあります（組み立て後、ゆるみ、ガタつきのないことを確認してください）。

☐ 枠・ドア本体・ロックは電気錠専用品となります。

- 枠・ドア本体の中を配線が通るため、手動用と電池錠用の枠・ドア本体・ロックは使用できません。
- ロックやACアダプター、インターフェイスユニットなどは電装商品ですので、雨などにぬらさないでください。電装部品の故障の原因になります。
- コネクターの接続は”カチッ”という手応えがあるまでしっかりと差し込んでください。差し込みが浅いと作動不良の原因になります。

- ☐電気工事は、内装工事をする前に必ず電気工事店様にご依頼ください。
- 電気工事は、電気工事士の資格が必要です。電気工事が必要な場合、必ず電気工事店様へご依頼ください。誤った工事を行うと故障や漏電の原因となり、火事や事故につながるおそれがあります。
 - 電気錠の配線は、他の電気設備（照明器具など）の配線とは、100mm程度離して配線してください。誤動作の原因となります。
 - 電気配線は、折り曲げたり、はさんだり、キズをつけたりしないでください。漏電や感電の原因となり、火事や事故につながるおそれがあります。
 - 玄関ドア付近の目立たない位置にAC電源部および、インターフェイスユニットを設置してください。またメンテナンスの際、点検できる場所に設置してください（参考施工例 P.7～9）。
 - 電気錠コントローラと接続する場合、接地工事（アース）はD種接地工事をしてください。電装機器の保護のためにも接地工事（アース）が必要です。AC100V配線やアース線は、VVFケーブル-φ1.6mm以上をご使用ください。
- ☐組み立て・取り付け完了後、正しく作業が行われたこと、開閉作動や施錠が正常に行うことができること、および使用上の不具合がないか確認してください。
- ☐施錠した状態で枠とドア本体間などにすき間が生じていないか確認してください。建て付けの不具合がある場合は、確実に建て付け調整を行ってください（建て付け・ストライク調整方法は、枠同梱の別冊「施工要領書」をご参照ください）。
- ☐取り付け、電気工事完了後、通電確認を行い、商品が正しく作動することを確認してください。
- ☐引き渡し前に清掃を行い、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。
- ☐電気錠コントローラの電源を入れたままインターフェイスユニットの電源ON/OFFを行わないでください（意図せぬ誤作動につながるおそれがあります）。

その他の注意事項

- ☐工事期間中のドア本体の施解錠は、コンストラクションキーを使用してください。
- ☐お客様へのお引き渡しまでは、以下の点を確認ください。
- 電源が入っているか。
 - 室内外からリモコン操作をした場合、上下連動して施解錠できるか。
 - 室内外から鍵（キー）またはサムターンを使って、上下連動して施錠できるか。
（この場合、上部操作時は下部も連動しますが、下部操作時は上部は連動しません）
 - 室内外から鍵（キー）またはサムターンを使って解錠できるか（この場合、上下の連動はありません）。
 - エントリーキーを携帯した状態で、室外からタッチ操作によって、上下連動して施解錠できるか。
 - システム機器を使用して施解錠できるか。
- ☐お客様へのお引き渡しまでは、確認時以外の電気操作を行わないでください。

設計・施工 行程モデル

建築工程(在来工法)	施工工程
お客様との打ち合せ ↓ 建築設計 ↓ 玄関枠・ドア本体取り付け工事 (工務店様) ↓ 電気配線工事 (電気工事店様) ↓ 内装工事 ↓ ★システム機器の結線取り付け (電気工事店様) ↓ 作動確認(納材店様) ↓ 竣工 ↓ お引き渡し(納材店様)	・玄関枠・ドア本体設置場所の決定 ・AC電源部の設置場所の決定 ★インターフェイスユニット設置場所の決定 ★システム機器設置場所の決定 ※二世帯住宅などで、電気錠を2台設置する場合、2台の電気錠に同一のエントリーキー・リモコンキーの登録をしないでください。 ★システム系統図の作成 ★システム配線図の作成 ・玄関ドア枠まわりの配線用木加工 ・電気錠玄関ドアの取り付け(水平・垂直・対角を確認した上で取り付けてください) ・仮設電源による作動テスト実施 ・AC電源部の配線 ★電気錠・インターフェイスユニット・電気錠コントローラ、モニター付親機を結ぶ専用回路の配線 ★スイッチボックスなどの取り付け ※電気工事は「電気工事士」の資格所有者が行ってください。 ・各機器の取り付けと結線 ・屋内配線結線(AC100V)後作動テスト実施 ・各機器がすべて正常に作動するか確認する。 ※作動確認時以外は電気錠に通電できないようにしてください(建築工事中は、通電しないでください)。 ・お客様へ取り扱い方法および保証内容を説明してください。 ・お客様へ取り扱い説明書と保証書をお渡しください。 ・お引き渡し前に通電し、作動確認をしてください。

※★印は拡張ありのみで発生する施工工程です。

梱包内容

- ☐開梱時に種類と数量を確認してください(部品袋の内容も確認してください)。
- ☐商品に破損や異常がないか確認してください。
- ☐開梱後、商品にキズをつけないように保管してください。
- ☐万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、販売店様または株式会社エクセルシャノンまでご連絡ください。

■枠同梱部品

品 名	数 量	付 属 部 品
通電金具	1	平ねじ M4 4本
枠外配線コード(10m)	1	—
施工要領書	1	—

オプション品

■インターフェイスユニット

品 名	数 量	付 属 部 品
インターフェイスユニット	1	—
JEM-A接続用ハーネス(150mm)	2	—
操作盤接続用ハーネス(150mm)	1	—
取り付け説明書	1	—

■操作ボタン付きインターフェイスユニット

品 名	数 量	付 属 部 品
操作ボタン付きインターフェイスユニット	1	プレート、操作パネル
JEM-A接続用ハーネス(150mm)	2	—
取り付け説明書	1	—

※操作盤の追加接続はできません。

■操作盤

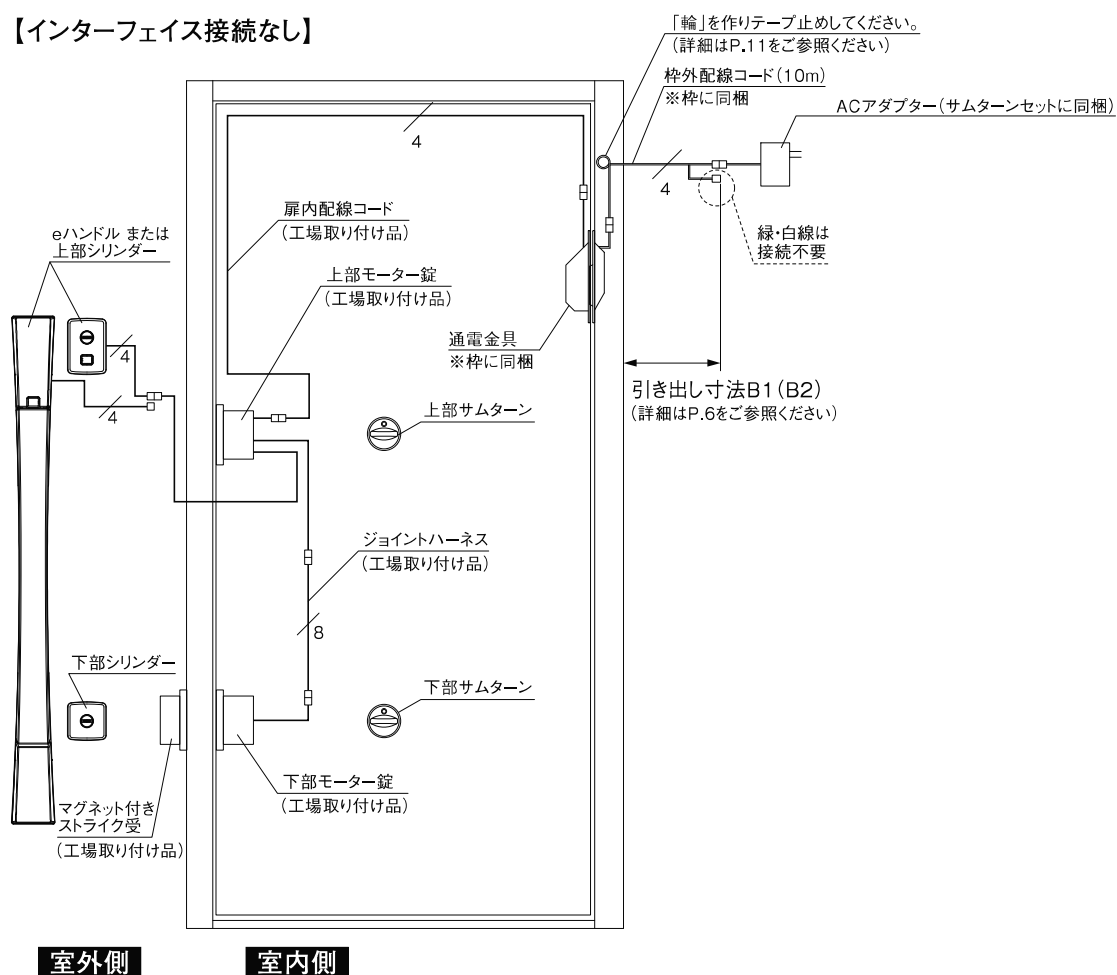
品 名	数 量	付 属 部 品
操作表示器	1	—
操作盤接続用ハーネス(150mm)	2	—

■延長コード(2.5m／10m)

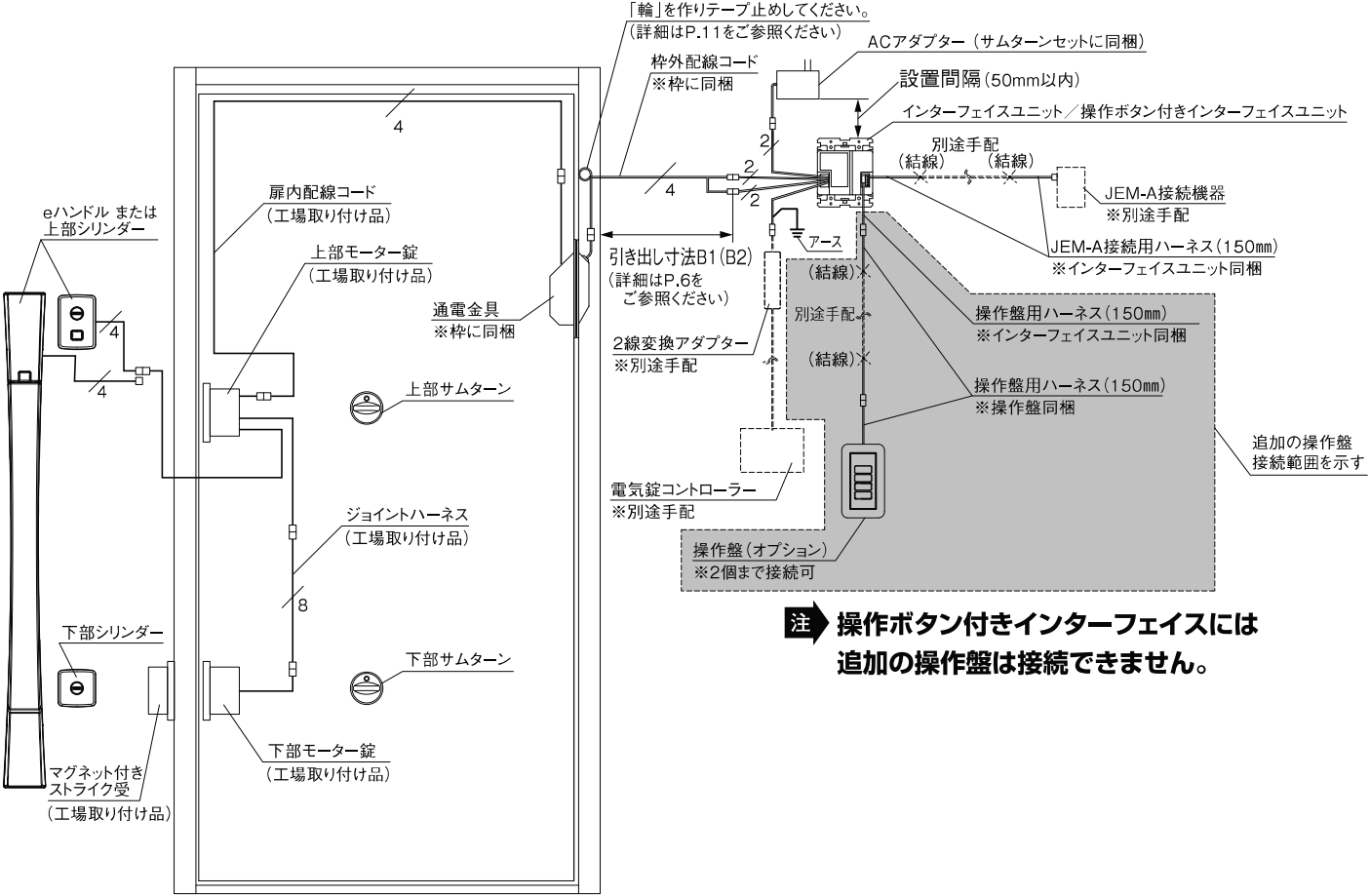
■エントリーキー・リモコンキー

電気錠システム構成図

【インターフェイス接続なし】



【インターフェイス／操作ボタン付きインターフェイス接続あり】



室外側

室内側

■インターフェイスユニットから拡張機までの配線長さ
(線径φ0.65mm～0.9mm)

インターフェイスユニット ～操作盤 ※1	100m以内
インターフェイスユニット ～電気錠コントローラ	50m以内 ※2
インターフェイスユニット ～JEM-A機器 ※4	30m以内 ※3 ・アイホン製:WP-24B・WJ-45 ・パナソニック製:VL-SWD505
	1.9m ・その他の機器

- ※1 操作ボタン付きインターフェイスユニットには操作盤は接続できません。
※2 アイホン製電気錠コントローラ(EL-PJP-EA)の場合は線径φ0.9mmをご使用ください。
※3 WJ-45の場合は線径φ0.9mmをご使用ください。
※4 機器の配線延長箇所はJEM-A機器付属の説明書をご参照ください。

AC電源部および、インターフェイスユニットの設置

1 設置場所の決定

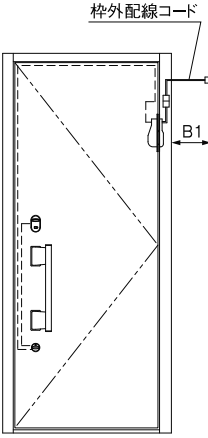
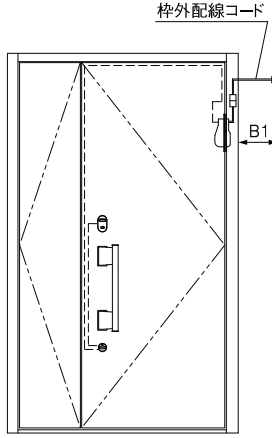
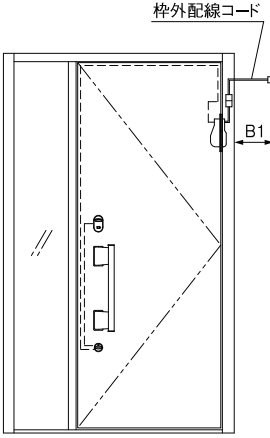
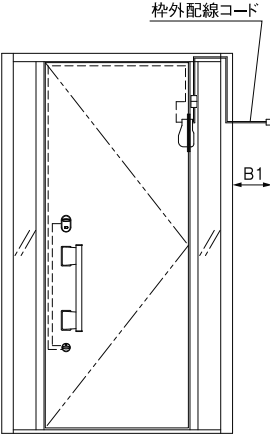
- 枠内の配線コードの経路は、下図のようになります。

枠外配線コードの引き出し寸法を参照の上、ACアダプターおよび、インターフェイスユニット取り付け位置を決定してください。

- ・ 吊元側に袖FIXがある場合は、枠を組み立てる際にあらかじめ枠に同梱されている枠外配線コードを通電金具切り欠き部まで配線しておいてください（枠外配線コードの枠内配線はP.11をご参照ください）。

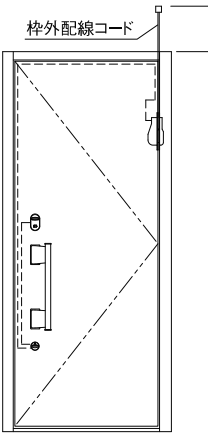
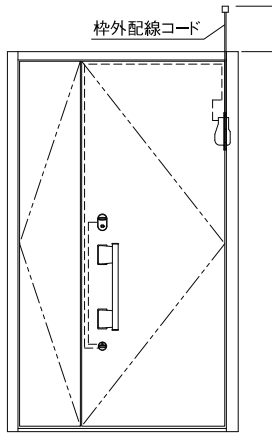
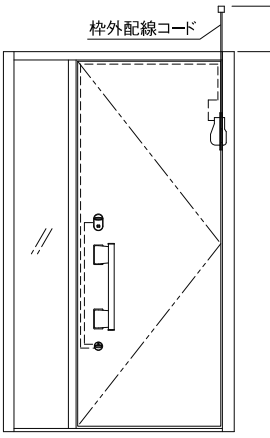
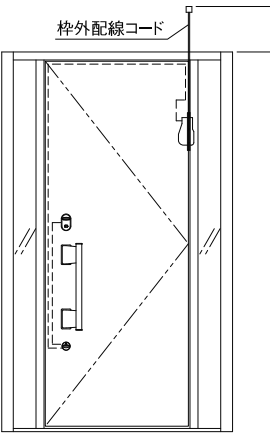
柱を通してコードを通線する場合

【室内側】

片開き枠	親子枠	袖FIX片開き枠	両袖FIX片開き枠
			

まぐさを通してコードを通線する場合

【室内側】

片開き枠	親子枠	袖FIX片開き枠	両袖FIX片開き枠
			

■ 枠外配線コード引き出し寸法

枠タイプ	B1		B2
片開き、親子、袖FIX片開き	約9.5m		約9m
両袖FIX片開き	約8.5m	※1 (10-SW / 1000-1.2)m	約9m

※1 袖FIX W(SW)が特寸の場合

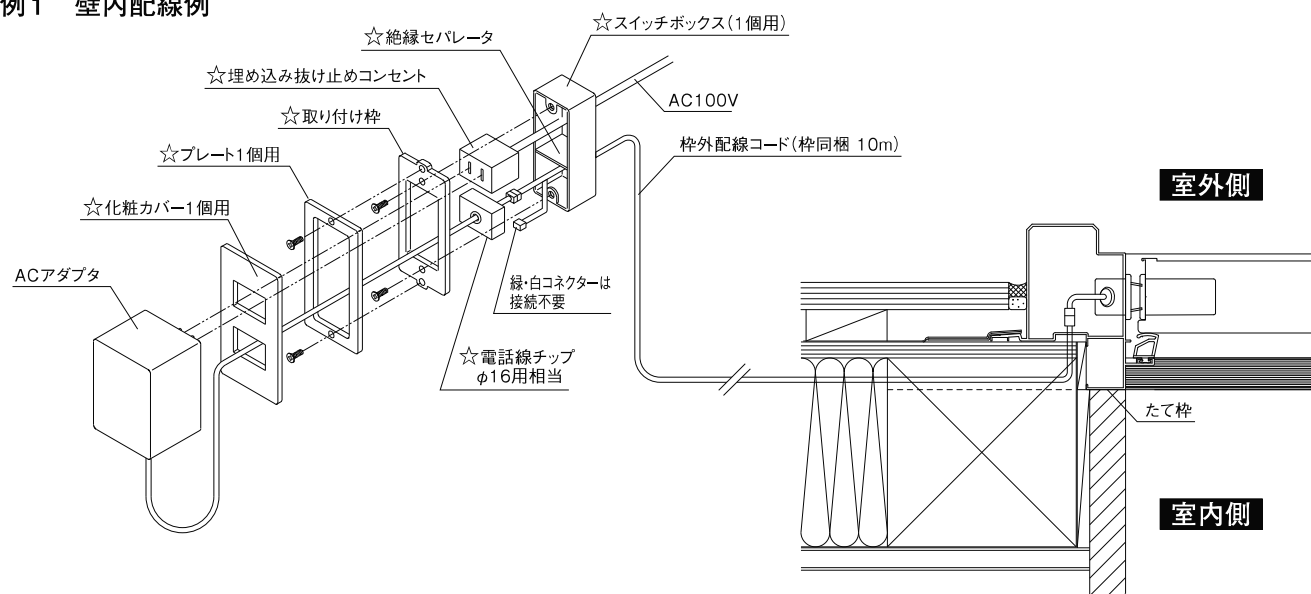
2 施工例－インターフェイスを接続しない場合－

- 参考施工例に従い、ドア付近の目立たない位置にAC電源部を設置してください。

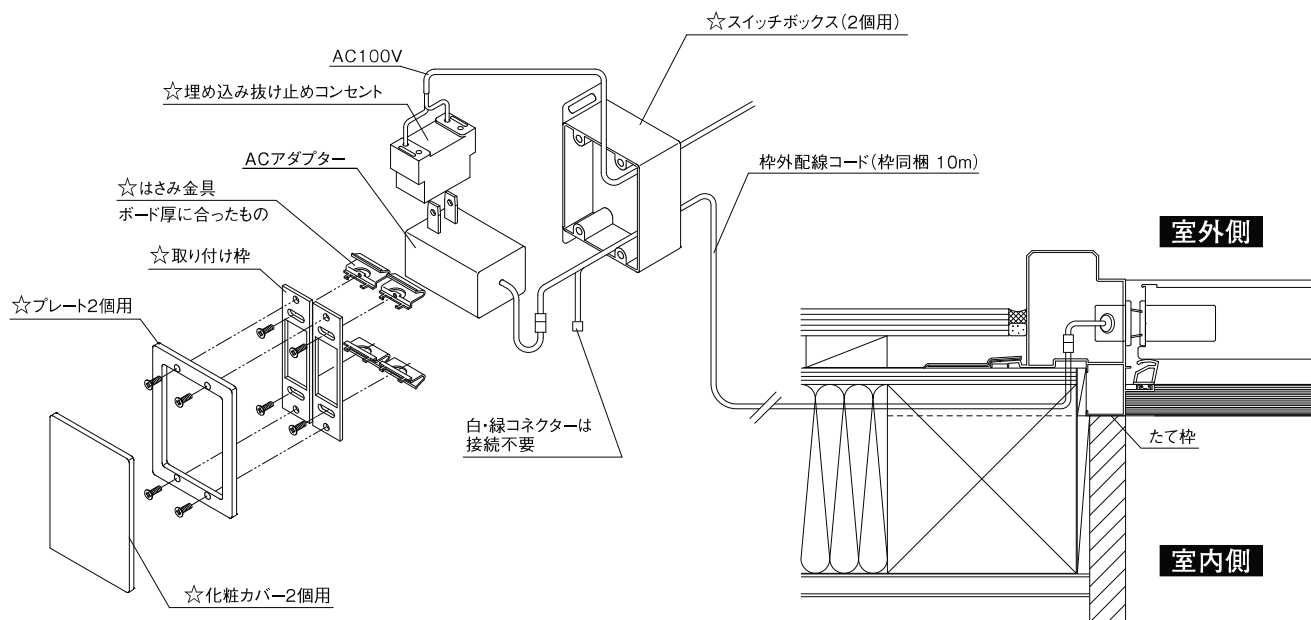
☆現地調達品

コンセントは、必ず埋め込み抜け止めコンセントを使用してください。

■施工例1 壁内配線例



■施工例2 壁内埋設配線例



3 施工例－インターフェイスを接続する場合－

- 参考施工例に従い、ドア付近の目立たない位置にAC電源部およびインターフェイスユニットを設置してください。

☆:現地調達品

※:オプション品

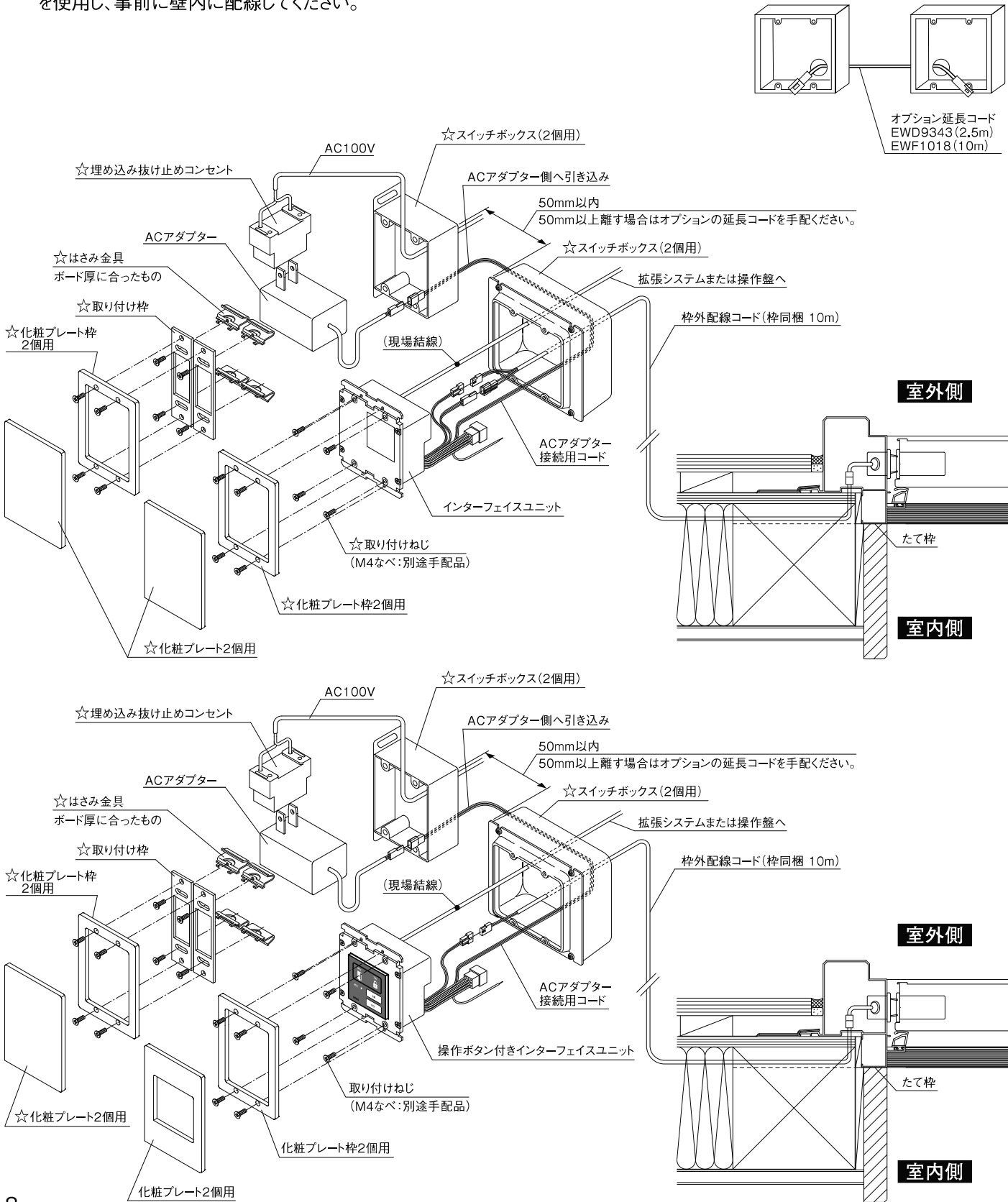
コンセントは、必ず埋め込み抜け止めコンセント
を使用してください。

延長コードはEWD9343(2.5m)・EWF1018(10m)以外は使用しないでください。
動作に支障をきたす場合があります。

■施工例3 壁内埋設配線例

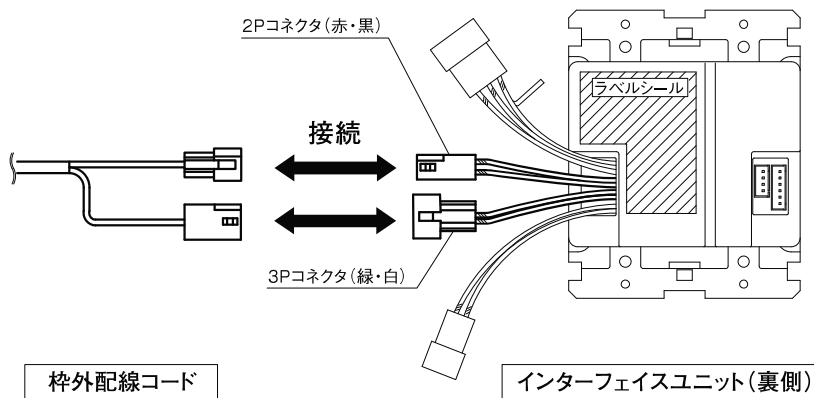
—操作盤、またはJEM-A使用时—

- 操作盤またはJEM-Aを接続するときにインターフェイスが必要になります。
- インターフェイスユニットとACアダプターの配線は両機器設置時に壁内を通して結線できるように50mm以内に設置してください。
- インターフェイスユニットとACアダプターを離して設置する場合は、オプションの延長コード2.5m(EWD9343)・10m(EWF1018)を使用し、事前に壁内に配線してください。



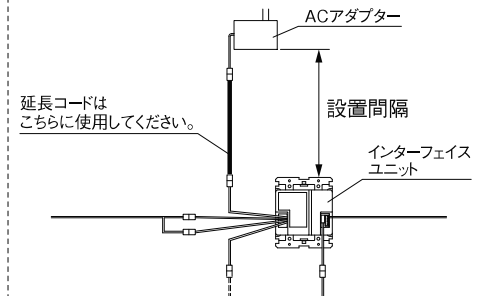
■インターフェイスユニットと枠外配線コードのコネクタ接続について

- インターフェイス裏面のラベルシールをご確認の上、接続を行ってください。



■インターフェイスユニットとACアダプターを50mm以上離したい場合

- オプションの延長コードEWD9343 (2.5m)・EWF1018 (10m)を使用し、設置間隔を延長してください。



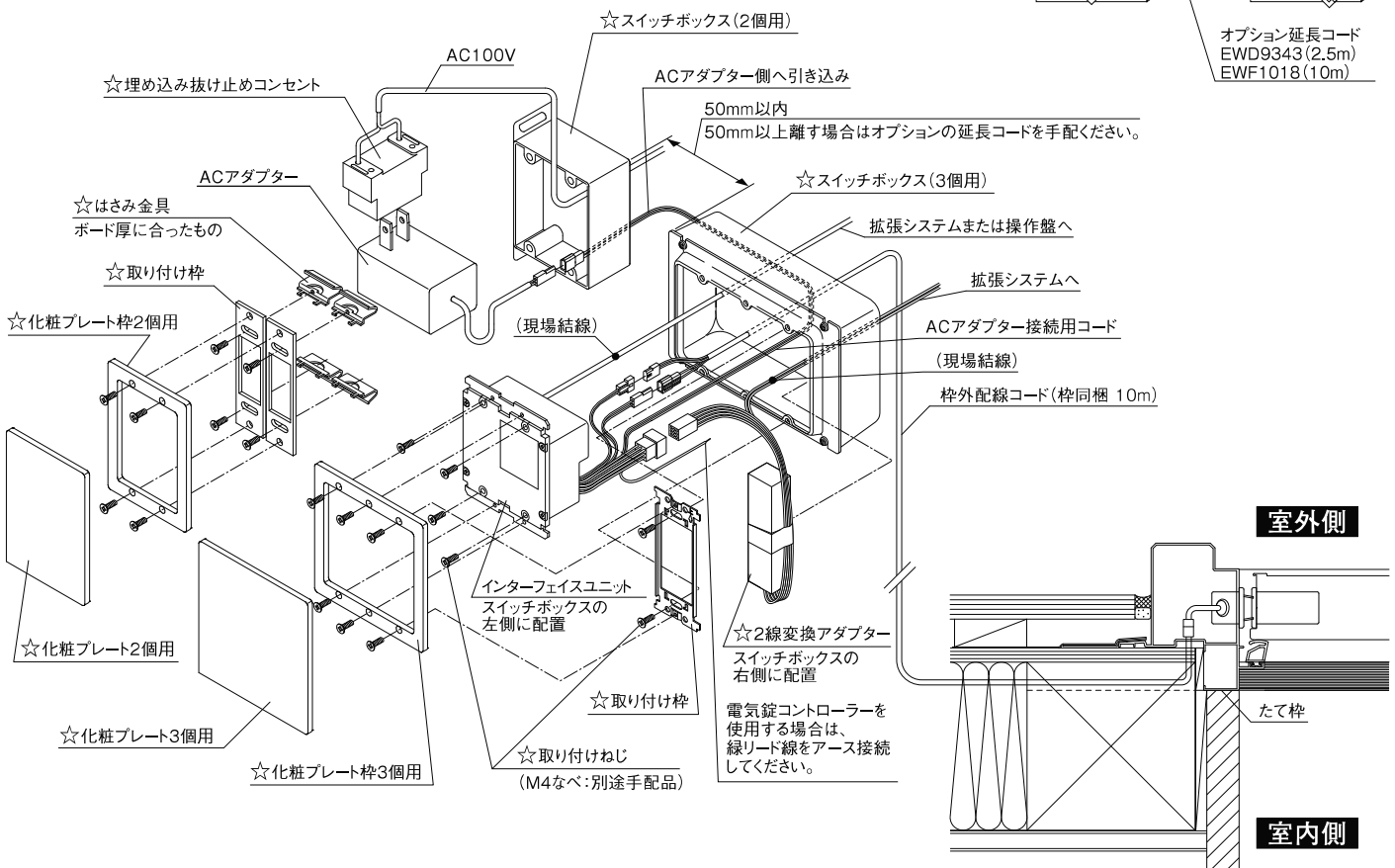
※内装仕上げ前に延長コードを配線しておいてください。

※最大コード長さは、10m以内としてください。

■施工例4 壁内埋設配線例

ー電気錠コントローラー使用時ー

- 電気錠コントローラーを使用するときにインターフェイスが必要になります。
- インターフェイスユニットとACアダプターの間隔は両機器設置時に壁内を通して結線できるように50mm以内に設置してください。
- インターフェイスユニットとACアダプターを離して設置する場合は、オプションの延長コード2.5m (EWD9343)・10m (EWF1018)を使用し、事前に壁内に配線してください。

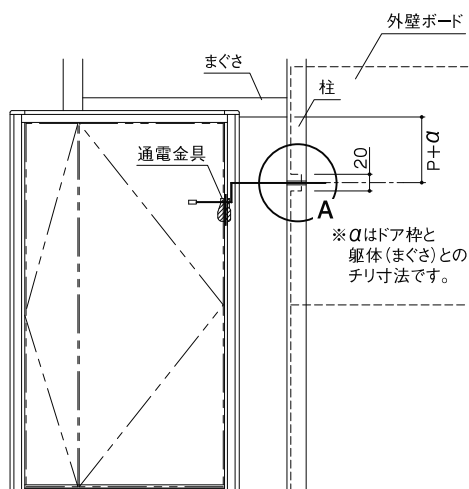


施工手順

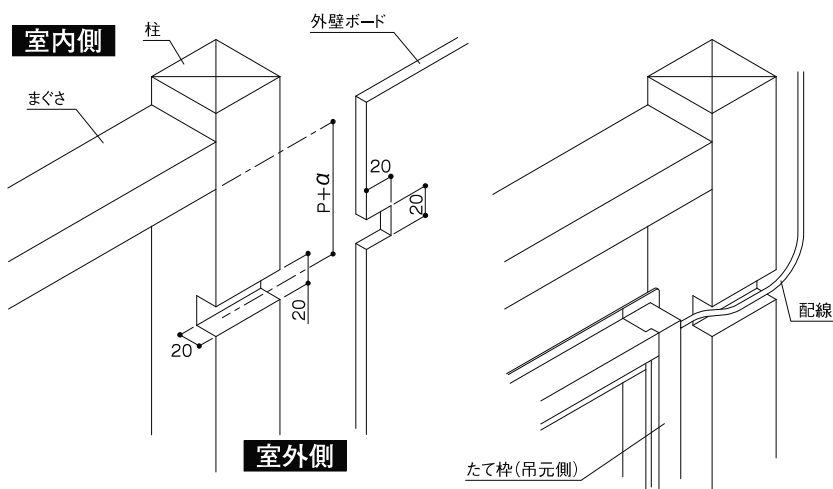
1 配線コード通線部の作製

- 枠を躯体に取り付ける前に、躯体に配線用の加工をしてください。
- 加工の際、切り欠き穴が大きにならないよう注意してください。

柱を通してコードを通線する場合

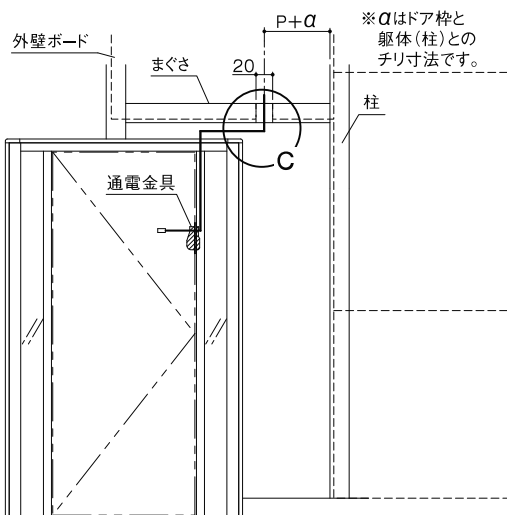
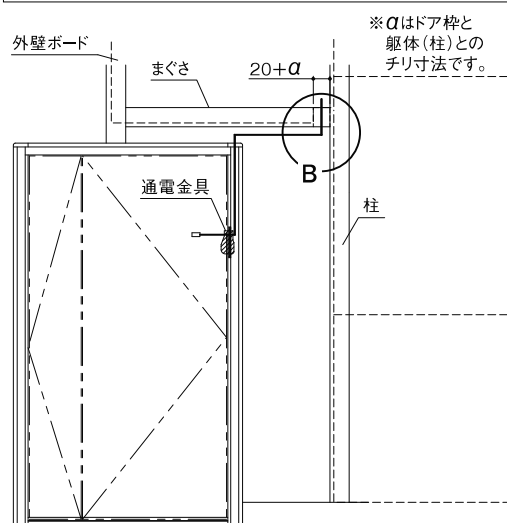


■A部詳細図(施工例)

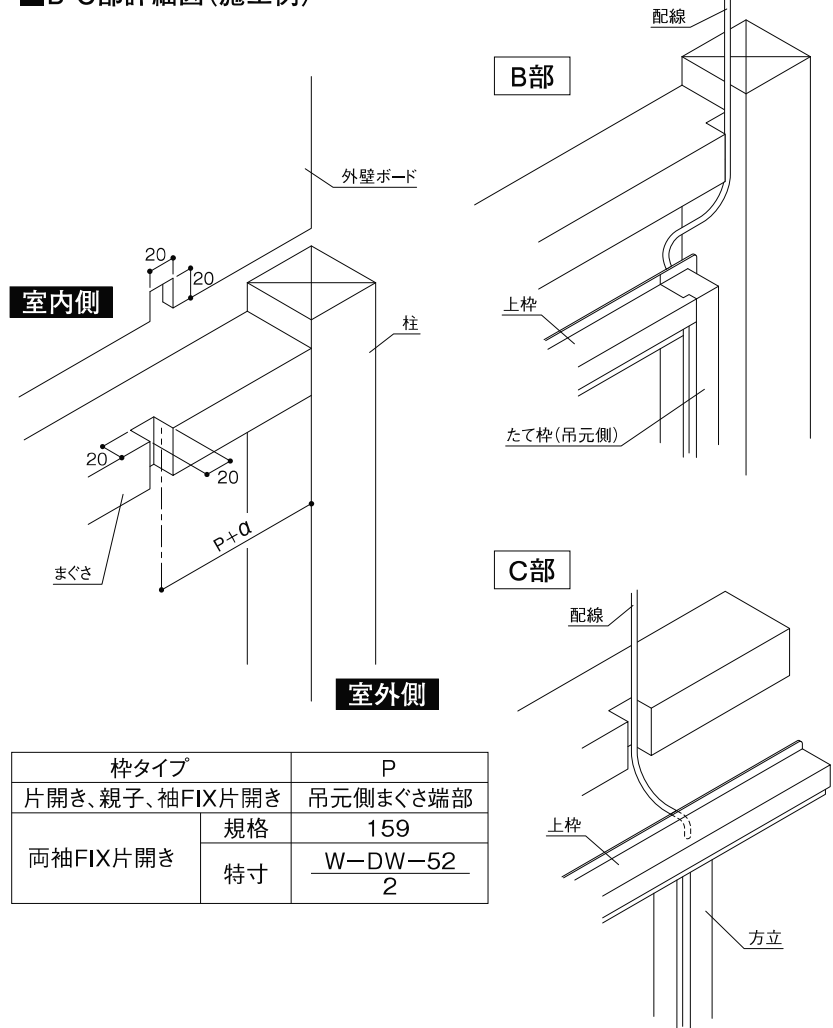


枠タイプ	P
ランマ無	262
R付枠	462

まぐさを通してコードを通線する場合



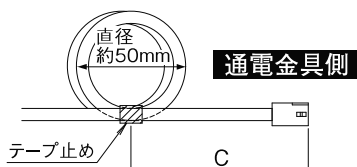
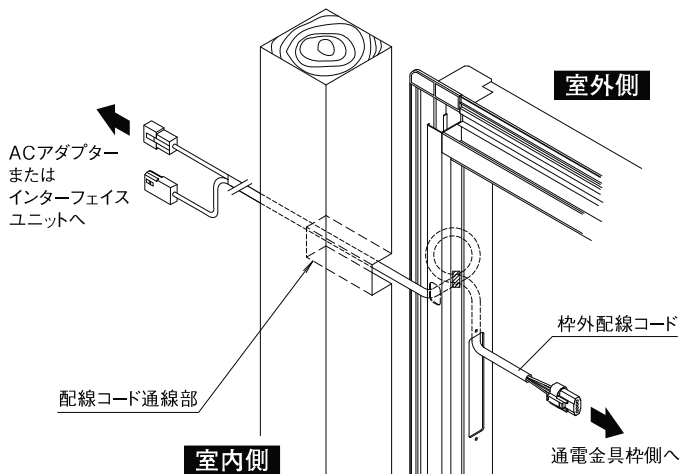
■B・C部詳細図(施工例)



枠タイプ	P
片開き、親子、袖FIX片開き	吊元側まぐさ端部
規格	159
両袖FIX片開き	特寸
	W-DW-52 2

2 配線コード通線部への配線と躯体への取り付け

- 枠の配線位置と躯体の配線コード通線部が合っていることを確認してください。
- 枠に同梱されている枠外配線コードを枠の配線コード通し穴・通電金具部切り欠きに通してください。
ひもなどを配線経路にあらかじめ通しておき、端部にコネクタを縛りつけ引き込むと配線しやすいです。
- 躯体の配線コード通線部に、枠外配線コードを通してください。
- 枠外配線コードをACアダプターまたはインターフェイスユニットへ接続してください。
- 枠を固定してドア本体を吊りこんでください。



■ 配線コード テープ止め位置

枠タイプ	C
片開き、親子、袖FIX片開き	200mm
両袖FIX片開き	500mm

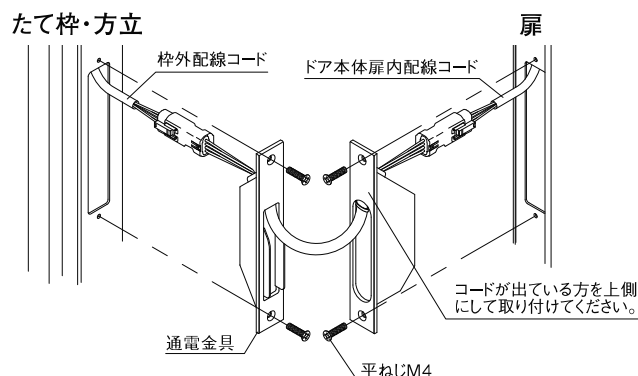
- 注** 配線コードは、枠内で十分にたわませた状態で配線を行ってください。
上図のようにコードで二重巻きの「輪」を作り、テープ止めしてください。コードの輪は二重巻きにしてください。
配線に十分なたわみがないと、通電金具のメンテナンス時にコネクタがはずせなくなります。

- 注** 配線コードの破損は、漏電や感電の原因となります。配線コードが商品と躯体の間にはさまれたり、取り付けねじや釘によって配線コードにキズがつかないように注意して取り付けてください。

3 通電金具の取り付け

- ドア本体建て込み後、枠吊元側からでているコネクタ（枠外配線コード）と枠側通電金具のコネクタを接続し、配線コードを枠内に押し込んで枠側通電金具をねじ止めしてください。
- 同様にドア本体吊元からでているコネクタ（ドア本体扉内配線コード）とドア本体側通電金具のコネクタを接続し、配線コードをドア本体内に押し込んでドア本体側通電金具をねじ止めしてください。

- 注** 通電金具のねじの締めすぎに注意してください。
樹脂製のため破損するおそれがあります。



- 注** コネクタは奥までしっかりと差し込んでください。
差し込みが浅いと動作不良の原因となります。

取り付け工事完了後の確認事項

- リモコン操作により、施錠・解錠できることを確認してください。
- 鍵（キー）またはサムターンで施錠・解錠できることを確認してください。
- タッチ操作により施錠・解錠できることを確認してください。

工場出荷時は、エントリーキー・リモコンキーの登録はされていません。お客様の承諾をいただき、登録および動作確認を行ってください。エントリーキー・リモコンキーの登録方法は、取り扱い説明書に記載してあります。

